

令和5年度事業計画書

1. 工学教育の振興及び科学技術の発展に寄与する事業

- (1) 常盤アドバンスドレクチャー「未来を切り開く技術開発」（会員対象の講座）
2023（第1回講座）を常盤工業会定時総会開催日に開催する。
日時 令和5年5月27日（土）
講師 比嘉 充先生（山口大学工学部循環環境工学科教授）
形式 オンライン（総会出席者は対面）
2023（第2回講座）を10月頃に東京にてハイブリッド形式で開催予定。
- (2) 「ちじょう IT 勉強会」活動費の支援
「ちじょう IT 勉強会」は、山口大学工学部知能情報工学科の卒業生や在学生在が運営し、工学部在在学生を対象に初心者向けIT関連のセミナーやワークショップを開催している勉強会。
R5年度の活動に対し支援を行う。

2. 山口大学工学部・在在学生を支援する事業

- (1) 山口大学工学部への寄付
 - ①山口大学工学部の教育支援として寄付（主として「常盤工業会奨学金」の原資）を行う。
 - ②山口大学工学部で設置予定である「デジタルサイネージ」の購入費用の一部を支援する。
- (2) 工学部ホームカミングデー行事の共催
山口大学工学部主催の工学部ホームカミングデー行事を共催で開催し、経費の支援を行う。
- (3) 常盤キャンパス「ワンコイン朝食事業」の支援
工学部が実施する常盤キャンパス「ワンコイン朝食事業」の経費を支援する（工学部教育後援会・山口大学生協・本会で経費を分担）。
- (4) 「常盤賞」表彰
工学部学生（学部生および博士前期課程学生）において学業優秀者並びに課外活動優秀者を表彰し、記念品を贈呈する。
- (5) 「ときわスマートチャレンジ」
工学部学生が自由な発想で取り組む自主的なプロジェクト活動に対し、財政的支援を行う。
- (6) 「常盤祭」の支援
「常盤祭」実行委員会に実施費用の一部を支援する。

3. 会員の交流及び啓発を図る事業

- (1) 会誌「常盤」の発行
 - ・夏号を8月、冬号を2月に発行する。
 - ・夏号は全会員に、冬号は会費納入会員に配布する。学生については夏号を全学生（帰省先）に、冬号は1年生（帰省先）に配布する。
 - ・会誌を通して常盤工業会と工学部の現況を会員に伝える。

- ・常盤工業会ホームページに直近3年間のバックナンバー（WEB版）を掲載する。

(2) 地域同窓会交流

- ・工学部ホームカミングデー開催日に合わせて11月に地域同窓会代表者会議を開催し、ホームカミングデー行事にも参加する。また、地域同窓会相互、地域と役員、地域と母校間の情報交流を図る。懇親会には学生を招待し、卒業生との交流を図る。
- ・各地域同窓会の活動に対する財政的支援を行う。
- ・各地域同窓会の総会に役員や教員を派遣し、地域同窓会と母校・本部との交流を図る。

(3) その他の交流

① 留学生と日本人との交流

学部近郊に在住する留学生と日本人との交流行事を開催する。

② 卒業記念

学部卒業生に会長からの祝辞文、記念品を配布する。

③ 学生への周知・広報

入学時やオリエンテーション時に案内文等を配布し、常盤工業会の活動をPRする。また、卒業時には、常盤工業会地域同窓会活動への参加案内、卒業後の住所連絡等を要請する。

④ 山口大学同窓会

山口大学同窓会の事業に協力し、分担金の支出を行う。

(4) 常盤工業会会館の運営

① 会館施設の有効利用

テナント、貸室および宿泊施設等を、会員をはじめ多くの方に有効利用していただく。

② 維持管理

- ・テナント「pieno」と「アイリス不動産」の入り口ドアの改修工事を行う予定。
- ・会館の老朽化に伴う修繕や改修等の中長期的計画を立てる。

令和5年度収支予算

収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位 円)

科目	A R5年度予算	B 前年度(R4年度)予算額	増減(A-B)
I 事業活動収支の部			
(1) 事業活動収入			
会費収入	44,200,000	46,300,000	△ 2,100,000
年会費収入	4,200,000	3,300,000	900,000
終身会費収入	40,000,000	43,000,000	△ 3,000,000
会館施設貸付事業収入	7,084,960	6,084,960	1,000,000
テナント家賃収入	5,584,960	5,472,960	112,000
施設賃貸料収入	1,500,000	600,000	900,000
雑収入	0	12,000	△ 12,000
雑収入	55,040	115,040	△ 60,000
受取利息収入	5,000	5,000	0
雑収入	50,040	110,040	△ 60,000
事業活動収入 合計	51,340,000	52,500,000	△ 1,160,000
(2) 事業活動支出			
①事業費支出	40,258,181	39,520,721	737,460
【工学教育振興事業】			
講演会・講習会			
会場費	0	70,000	△ 70,000
支払手数料	60,000	60,000	0
旅費交通費	10,000	10,000	0
助成費	150,000	100,000	50,000
雑費	80,000	80,000	0
【大学支援事業】			
寄付金支出	11,000,000	10,000,000	1,000,000
負担金支出	1,430,000	1,430,000	0
表彰費	290,000	290,000	0
助成費	600,000	600,000	0
【会員交流事業】			
(会誌刊行)			
印刷費	2,200,000	2,000,000	200,000
通信費	2,600,000	2,500,000	100,000
消耗品費	270,000	230,000	40,000
委託業務費	600,000	600,000	0
雑費	50,000	50,000	0
(地域同窓会)			
通信費	1,300,000	1,300,000	0
会議費	130,000	130,000	0
旅費交通費	2,000,000	2,000,000	0
負担金支出	350,000	350,000	0
(他交流)			
留学生関係	500,000	100,000	400,000
記念品関係	660,000	660,000	0
負担金支出	500,000	500,000	0
(会館施設)			
衛生費	300,000	200,000	100,000
修繕費	1,300,000	2,000,000	△ 700,000
水道光熱費	70,000	80,000	△ 10,000
租税公課	71,000	71,000	0
雑費	70,000	100,000	△ 30,000

科 目	A R5年度予算	B 前年度(R4年度)予算額	増減(A-B)
【事業に係る経費】			
通信費	184,800	142,800	42,000
機器使用料	8,316	8,316	0
給与・手当	7,896,000	7,896,000	0
福利厚生費	1,246,560	1,302,000	△ 55,440
退職給付引当金繰入	8,400	84,000	△ 75,600
租税公課	1,365,000	1,365,000	0
委託業務費	1,072,500	1,316,250	△ 243,750
修繕費	682,500	682,500	0
損害保険料	192,855	192,855	0
消耗品費	84,000	84,000	0
電灯電力費	780,000	780,000	0
水道光熱費	146,250	156,000	△ 9,750
②管理費支出	4,624,519	4,687,979	△ 63,460
通信費	215,200	207,200	8,000
機器使用料	1,584	1,584	0
支払手数料	510,000	380,000	130,000
給与・手当	1,504,000	1,504,000	0
福利厚生費	237,440	248,000	△ 10,560
退職給付引当金繰入	1,600	16,000	△ 14,400
印刷費	530,000	390,000	140,000
会議費	50,000	50,000	0
旅費交通費	1,200,000	500,000	700,000
租税公課	35,000	35,000	0
委託業務費	27,500	33,750	△ 6,250
修繕費	17,500	17,500	0
損害保険料	4,945	4,945	0
消耗品費	16,000	16,000	0
電灯電力費	20,000	20,000	0
水道光熱費	3,750	4,000	△ 250
雑費	250,000	1,260,000	△ 1,010,000
経常費用 合計	44,882,700	44,208,700	674,000
当期経常収支差額	6,457,300	8,291,300	△ 1,834,000
II 投資及び財務収支の部			
1 投資及び財務活動収入			
① 減価償却引当預金取崩収入	0	0	0
投資及び財務活動収入 合計	0	0	0
2 投資及び財務活動支出			
① 固定資産取得支出	0	0	0
② 減価償却引当預金取得支出	1,956,292	2,045,082	△ 88,790
投資及び財務活動支出 合計	1,956,292	2,045,082	△ 88,790
投資及び財務活動収支差額	△ 1,956,292	△ 2,045,082	88,790
III 予備費支出	4,300,000	4,000,000	300,000
収支差額 合計	201,008	2,246,218	△ 2,045,210
当期収支差額	201,008	2,246,218	△ 2,045,210
前期繰越収支差額	81,849,027	79,602,809	2,246,218
次期繰越収支差額	82,050,035	81,849,027	201,008